

BEESPEAK



ブランド制作秘話 & イラストレーター特集

第1回 chunky cookie
イラストコンテスト作品紹介

NÜDA,,

chunky cookie

ブランド制作秘話 & イラストレーター特集



「気が付いたら、これが chunky cookie ですと胸を張って言えるものができていました」

吉田オーナーバリスタはそう語る。「ただクライアントとして作品を作ってもらったことをコラポとは言わない」という、バリスタ×クリエイターを掲げるブランドとしての在り方が、他でもない参加クリエイターさん達の魅力に溢れたパッケージイラストによって体現された。『ミス・カレイド』『レミア』『木漏り唄』の3つの定番ブランドは、いずれもイラスト完成後に味のバランスを最終調整している。「出上がったイラストとの調和をとると言うと聞こえはいいですが、本音を言うと負けてられないなって気持ちになるんです(笑)」とのことだ。

お互いが刺激しあうことで必然性、物語性のあるものを作り上げた結果生まれた3つの定番ブランド。

「今回は僕らが勝手にチームちゃんきーの一員と思っっている3名のイラストレーターさん達について、ブランド制作秘話という目線でお話したいと思っています」

Blend 「ミス・カレイド」

Miss.Kaleido



Illustrator 「NUDA」



華やかな香りからベリー系の酸味、柑橘系の柔らかい甘みへの移り変わりはその名の通り万華鏡を彷彿とさせる。コーヒーマグもつ表情の豊かさを追求したようなブレンドだ。

「まさに名前を体現したようなブレンドですが、どのようなきっかけで生まれたんですか？」

スタートは単純に『ゲイシャ』を使うことでした。ゲイシャというのはコーヒーの品種なんです。時に香水と評されるほどの香りと余韻の長い甘さが特徴で、おそらく誰が飲んでも他のコーヒーマグと分かるほどの個性を持っています。身も蓋もない話、ゲイシャ単体で万華鏡のような個性を持っているといっても過言ではありません。

「そんな品種をブレンドにしたと。」

だからこそというのがあります。ゲイシャは高級品でもあるので、単品で楽しむか価格と折り合いをつけるためにブレンドとして販売することが多いです。僕はそれをブレンドの個性としてポジットティブに採用したかった。そしてゲイシャを使っていることを謳い文句にしないというポリシーを掲げて制作していったブレンドです。

「そんな挑戦的なブレンドのパッケージ絵を担当されたのが、今回雑誌の表紙も手掛けていただいたNUDAさんですね。」

そうですね。ここだけの話なんですけども『ミス・カレイド』のパッケージイラストは別の方に描いてもらう予定だったんです。というのも、ご存じの通りNUDAさんにはショップサイトのトッ

プに使う写真に登場するイラストをお願いしていたので、誰にお願いするか決めあぐねていたときに、NUDAさんをお願いしていたイラストに加えて複数あったラフも形にしてください。それがまさにカレイドを現したかのようなイラストだったので使わせほしいとお願いしたところ、快諾してくださりました。

「そうだったんですね。でもこれはまさにカレイドです。」

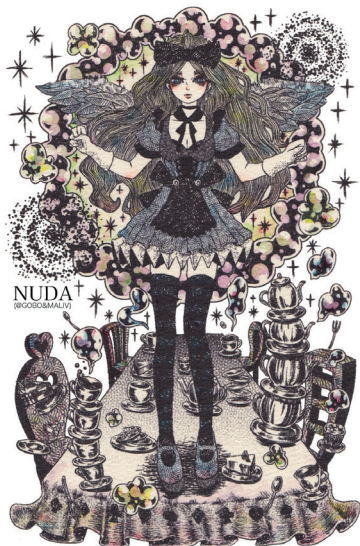
本当にそうですね。NUDAさんは僕が個人的に好きでツイッターでもフォロワーさせていたでいてたんです。不思議の国のアリスやダークファンタジー的な世界観が昔から好きで、ショップの看板になるトップページのイラストは自分の中では脳内構想段階からNUDAさんを勝手に採用していました。実際に依頼を受けていただいたところか、こうしてブレンドそのもののイラストにも使わせていただいたのは感謝しかありません。ミス・カレイドはコーヒーマグでありながら西洋ファンタジーのお茶会のイメージが裏テーマとしてあったので、見た瞬間にこ

れだと思いました。一発で惹きつけられる世界観はもちろん、点描や線のディテールの書き込みなど、見ていて楽しくなりますよね。

「結果として、chunky cookieらしさを印象付ける存在になっていきますね。最後に、ミス・カレイドを楽しむポイントがあれば教えてください。」

ミス・カレイドは香りと酸味にフォーカスしたブレンドになります。そのため英国式紅茶を入れるイメージで、沸騰直後のお湯を使い軽く蒸らした後は勢いよく注いで抽出してみてください。浅めの焙煎なので、ちよつとコーヒーマグとしては色が薄いかなく

らしい濃度で十分お楽しみいただけます。いわゆる苦いコーヒーマグのイメージで飲むと驚かれる方も多いと思います。コーヒーマグにこんな華やかな香りやきれいな酸味のものもあるんだと感じていただければ幸いです。



ショップページに登場するイラスト



Blend 「レミア」



Illustrator 「夕月」



古き良き喫茶店で飲む深煎りコーヒーのような香り。豊潤でほろ苦い味わいにほっとしていると、余韻に優しい甘さが顔を出す。懐かしさの中に見え隠れする新しい表情が特徴のブレンドだ。

ーミス・カレイドとは打って変わって、コーヒーらしさを感じられるブレンドですね。

僕らの好きな言葉とかジャンルがあって、一つが『西洋ファンタジー』でもう一つが『ノスタルジー』なんです(笑)だからシヨップの立ち上げにあたって最初のラインナップはこの二つの要素をそれぞれ体现したブレンドにしたかったんです。前者が『ミス・カレイド』で後者がこの『レミア』です。

ー『レミア』という名前についてお話しただけですか？

追憶という意味の『Reminiscence』と近くにあるという意味の『near』を組み合わせた造語です。僕自身、昔ながらの喫茶店で飲む深煎りコーヒーも好きで、それを chunky cookie で表現するときに面白くない焼き直しにはしたくなくて。コーヒーにもいろいろな表情があるのを楽しめるようになってきた昨今のエッセンスを取り入れたらと思ったのが始まりです。深煎りの王道マンデリンに、いわゆるスペシャルティと呼ばれるグレードの個性豊かなケニアの余韻を合わせました。

ーパッケージイラストは夕月さん。結構苦勞を掛けたんじゃないでしょうか(笑)

はい(笑) 古き良きだけど、現代チック

クさも欲しいという無理難題を初対面で投げかけたのは反省の極みですが、僕らも想像していなかった世界観で表現してくださったのには感謝しかありません。夕月さんはブレンドのコンセプトが決まってイラストレーターさんを探していた時に、佐藤さんが紹介してくださったんですよ。

ーそうですね。こんなブレンドにしたいという話があって、私が個人的に好きで、イメージにもぴったりだったので推させていただきます。

アナログの懐かしい温かさのあるタッチと世界観が素敵です。ブレンドコンセプトに込められた時間軸の奥行きを、オーダーしたわけでもないのに構図に組み込んでくださっています。一枚の構図の中に物語性を感じられるイラストレーターさんだったのが依頼を決定した要素だったのですが、手前の昭和レトロな雰囲気から、どこか現代的な奥の街並みのバランスがブレンドで表現したかった味わいそのものでした。そしてなにより、ノスタルジーが極まっています(笑)

ーその一言に尽きますね。ミス・カレイドと並んだ時に、パッケージ、物語の対比があって、クリエイターコラボに対する考えが伝わる気がします。

今後イラストレーターさんをはじめ、音楽・写真・動画・雑貨などのクリエイターさんとのつながりを生んでいきたいと考えているので、僕たちらしさを保ちつつも幅広い世界観を見せていきたいと考え

ているので、シヨップ最初のラインナップとしてこの二つのブレンドを出せたことはとても意味のあることだったと感じています。僕たち自身も楽しかったです。

ーでは、最後にレミアについてもおすすめの淹れ方を教えてください。

レミアはどちらかというと深煎りなので、92度くらいの湯を使うといいと思います。じっくりと秒ほど蒸らして、ゆっくりと抽出すると深みのある味わいをお楽しみいただけると思います。また、夕月さんのイラストにもあるようにサイフォンをお持ちの方はぜひ、使ってみてください。力強さと余韻の柔らかさの対比を感じていただけるのではないのでしょうか。chunky cookie のブレンドは基本的にはどんな淹れ方でもお楽しみいただけます。商品に同封している淹れ方はシンプルで変数の少ないレシピで、僕たちも実際にブレンドのテイ스팅時に使用しているものなので、そこから温度だけ、挽目だけと一つずつ変数を変えてみることで、味がどのように変わるか試してみるのも楽しいと思います。



Blend 「木漏り唄」



Illustrator 「あめこ」



柔らかい香りと穏やかな苦みと酸味、そして優しく長い甘み。重さはないが単調ではない風味は、時間帯やシチュエーションを問わず楽しめる懐の深さがある。

「レミニアに続いて苦勞を掛けたんじゃないでしょうか。」

「反省しています。夜だけど昼でもあります。という趣旨の仕様書をお渡ししたところ、とんでもないイラストに昇華していただきました。仕様書にポエムを書いてはいけませんよね。もうイラストレーターさん達には頭が上がりません。」

「『木漏り唄』というタイトルとその仕様書からここまでの世界観を創り上げてくださるのは本当にすごいですね。」

「まだひよこのような立ち上げ間もない

シヨップからの依頼を受けてくださるばかりか、内容どころかイラストレーターさんへ発注するものとしても拙い仕様書に対応いただけているのは奇跡のように感じています。そんな中でも特にうれしいのが、関わってくれたイラストレーターさんが皆「楽しかった」と言ってくれたことです。この企画の将来的な目標の一つに早くも手が届いた気がして、うれしいとともに身の引き締まる思いです。」

「このブレンド制作時のエピソードを教えてくださいいただけますか？」

「ポットモンターで例えるなら『ミス・カレイド』『レミニア』が赤・緑版で『木漏り唄』が青版です。」

「例えから世代がうかがえますね(笑)」

「(笑) つまるところ、リリースまでの時間差がありましたねが『木漏り唄』を合

わせた3つのブレンドが chunky cookie を代表する看板ブレンドとなります。なのでこのブレンドの制作には骨が折れました。」

「3つ目によって全体の方向性が見えてきちゃいますからね。」

大半のコーヒージョップが取り扱うようなコストパフォーマンスに優れたブレンドを作る案もあつたんです。でも「これが chunky cookie です」と言って3つ選ぶ中にそれが入ることは避けなかったんです。そんなときに、たまたま個人的な趣味で焙煎したブラジルのとある銘柄がすごく優しい甘さを持っていて。これを軸に飲み疲れしない、朝も昼も夜も気軽に飲めるブレンドを思いついたんです。これがなかなか苦戦したんです。」

「飲みやすさって、突き詰めると水のよくな方向性になりますよね。」

「そうなんです。味わいの輪郭を保ちながら、いかに情報量を減らせるかという作業でした。たくさん種類の豆を混ぜればノーマライズされるので飲みやすくなるんですが、個性を掛け合わせるカクテル的アプローチのブレンドとしては理想とは言えない。使用する豆と焙煎の試行回数はダントツで一位です。」

「そんな絶妙なバランス感覚のブレンドを表現してくださったのがあめこさんです。」

「とにかくかわいい。まずそれを言いたいです(笑) そして色使いから全体のグラデーション、モチーフに至るまで緻

密に計算されている印象です。『木漏り唄』というブレンド名は、夜の優しいイメージである『子守唄』と昼の優しいイメージである『木漏れ日』からきているのですが、夜の帳と木漏れ日が共存しているようなイメージの背景と、明るすぎず暗すぎない女の子の表情が相まって、見た時の気分や時間帯で昼にも夜にも見える素敵な世界観を表現してくださいました。」

「同系統の色に統一する配色は画面を成立させるのが難しいと思うんですが、本当に可愛らしく素敵なイラストに仕上がっているのがすごいです。それでは最後に『木漏り唄』の淹れ方をお願いします。」

「『木漏り唄』に関しては特に淹れ方がないんです。コンセプトにどんな淹れ方でもコンスタントにポテンシャルを発揮してくれるように調整していますので。商品に同封の淹れ方をベースに、高温でさらっと淹れたら香りの要素が、低温でゆっくりと淹れたら甘みの要素が出やすいと思います。そういう意味では、抽出方法でどう味が変わるのか研究するのも向いていると思います。」



第一回

chunky cookie

イラストコンテスト結果発表

★**大賞**★

第一回 chunky cookie イラストコンテストが無事、結果発表を迎えることができました。初開催のイベントにもかかわらず、私たちの想像をはるかに超える応募をいただき、感謝の気持ちであふれています。すでにホームページ上で全体の選考結果を公開させていただいているところですが、本誌では大賞受賞者の紹介および特集と、金賞受賞者の紹介をさせていただきます。

第一回大賞受賞者『ましろむさし』様

一枚から色々な物語を連想させられるイラストでした。筆入れの一つ一つが細かく丁寧で、吸い込まれるようにしっとりと眺めてしまいます。夏らしさと涼しげな印象を、星空や茜雲という予想をしていなかったモチーフで表現されていて驚きました。それではましろむさしさんへいくつかインタビューしていきたいと思います！



まずは自己紹介をお願いします。

ましろむさしと申します。多摩美術大学の版画専攻を卒業後、会社員として働きながら作家・イラストレーターとしても活動させていただいております。

「夜」をテーマにしたものや、人魚姫を中心とした童話モチーフを得意としています。

—制作時のエピソードを聞かせていただけますか？—

難産でした(笑) 夏の星空のイメージで、人物無しのコヒー単体の構図で、お花いっぱいでもトロピカルに！…などなど、今の完成形のイメージに考えが至るまでに色んなバターのラフを考えては消し、を繰り返していた為、最終的に今の形で完成したのは応募締切当日の夕方でした。ギリギリの応募となってしまい申し訳ない限りでしたが、幅広く想像できるテーマで大変楽しく制作させていただきました！

—人物なしの案もあったんですね！ 今回の「SHOWER of YOUTH」というテーマは、『夏』・『青』のイメージにながりがやすいと思いますが、黄昏のような赤色を用いた理由はありますか？

前の質問でも少しお話させていただいた通り、私も最初は「夏の青い空や海」のイメージを中心に色々な構成を考えていたのですが、自分の中でまとまりそうでもとまらず…。「自分がもしこのブレンドを飲むとしたらどの時間帯、どんなシチュエーションで飲みたいか？」と、自分目線で想像した時、「黄昏時の少し涼しくなってきた頃、爽やかな潮風に吹かれながら」というシチュエーションが浮かび、それが一番自分の中でブレンドのイメージとしてしっくり来たので夕暮れの空として赤く紫の色を用いた構成にしました。また、ブレンドのイメージである「爽快感・瑞々しさ」の中に「コヒーを飲んだ時のホッとした瞬間」みたいなものも一緒に表現出来れば…と考えていたので、今回は青より赤系の色の方が伝わりや

すいかなと思っただのも理由の一つです。
—最後にイベントの感想等お願いします。

自分のイラストがパッケージとして採用されるかも？というチャンスの前にしたワクワク感、そして想像できる幅が広いブレンドのテーマにより、構想を考えるとそこから制作まで、楽しみながら参加させていただくことができました！

私自身コーヒーが好きなのと、過去に飲み物モチーフの絵を描いていたこともある為「好きな飲み物のパッケージを描く」というのは一つの夢でした。この度、夢がひとつ叶ってとても嬉しいです。

改めまして、イベント開催第一回目の大賞という、大変光栄な賞をいただきまして誠にありがとうございます！「SHOWER of YOUTH」の発売、そして今後のイラストコンテスト開催も楽しみにしております。

～chunky cookieのprofile～

○Twitter: @unclear07

○pixiv: 3809799

(<https://www.pixiv.net/users/3809799>)

○活動履歴

・2020年8月放映済

『実総合テレビ「リアルプリンセス」』童話パートの

背景イラスト担当

・2021年6/1～6/20

カプチン画材様主催のWeb個展開催

https://do-art.jp/mashiro_gajin-garou_web/

↓ pixiv



第一回金賞受賞者 『もろこしごんた』様

私達もなんとなく頭の中に描いていた「SHOWER of YOUTH」のイメージをまさに描いてくださっています。ポップで可愛らしいタッチが印象的で、きらきらとした夏のまぶしさがありながらも瑞々しい爽快感に溢れています。限定ブレンド「SHOWER of YOUTH」の味わいとも親和性が高いイラストだと感じました。



～イベントを終えて～

↑もろこしごんたさん

初のイベントにも関わらず非常にたくさんの応募があり、驚きと感謝でいっぱいです。少しずつ皆さんと育てていけるイベントにしていきたいので、次回以降もどうぞよろしくお願いいたします！



↑イベント特設ページ

chunky cookie 代表 吉田勇貴



～編集後記～

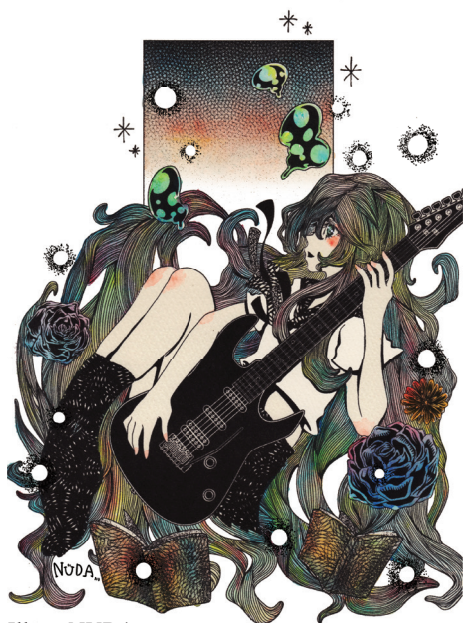
編集者かく語りきというべきか、編集者が何か語るとしたら編集後記だろうという安直な発想でこのコーナーを設けました。

と言うのもありますが、この『BESPEAK』の制作に関わってくださった方へのお礼を綴るにはこの場が最適だと思った次第です。特に今回、表紙を描いてくださった『NUDA』さん。chunky cookieとのつながりからお願ひさせていただいた結果、とんでもなく素晴らしいイラストを仕上げてくださいました。今はまだ本職でもなく、有志として chunky cookie で発表の場をいただいているこの雑誌企画が、もはや商品レベルのオーラを纏っています。

「SHOWER of YOUTH」というテーマを意識しつつも、あくまで裏の顔を現した表紙にたく、『孤独』や『神秘』をキーワードに『誰かの幻想の歌姫』と『夜明け』の組み合わせを、私も多分に漏れずふわふわとした仕様書でお願いしてしまったのですが、出来上がりにはただただ感動し、下手な編集はできないと恐縮していました。有り体ではありますが、本当にありがとうございます。

そしてコーヒーを通じてこの雑誌を手にとってくださった皆様にもお礼申し上げます。少しでも『瞬間をデザイン』することができていれば幸いです。

佐藤奈史



Illust:NUDA

-SHOWER of YOUTH-

はじまりの青と、おしまいを告げる赤。

過ぎれば一瞬のきらめきは
それでも振り返るには眩しすぎる。

駆け出した汗、すれ違う声
内緒の落書きと風に揺れるシルエット。

「何をしていますか？」

「何をしていましたか？」

問いかける言葉はいつの自分で
誰から聞こえてくるのだろう。
それでも降り注ぐ眩しい切なさは

いつだってこの胸にある。

佐藤奈史



「バリスタ」×「クリエイター」が
テーマのコーヒーショップ

chunky cookie

期間限定ブレンド

「SHOWER of YOUTH」

好評発売中！！

chunky cookie
chunkycookie.theshop.jp



BEeSPEAK

※本誌の内容及び写真・画像等の複製、無断転載を禁じます。



編集：佐藤 奈史
発刊：2021 年 夏
Not for sale